

治水シンポジウム 事前質問・事後アンケート回答一覧

【開催日：令和4年5月15日】

	質問	回答者	回答
事前質問			
1	令和元年8月豪雨を受けて、国・佐賀県・武雄市では「六角川水系」及び「防災」について、どのような対策をされたのか。また、今後どのような対策を考えられているのか。	武雄市	<ul style="list-style-type: none">・シンポジウムで様々な対策を説明させていただきました。当日の様子については、ケーブルワン公式 YouTube でも公開されておりますのでご覧ください。
2	六角川の河川勾配を考えても、浚渫と堤防強化では、満潮時や時間100mmの降水になると対応できないため、六角川と牛津川の合流地点の井関から海側に排水する方法などは考えられないか。	河川事務所	<ul style="list-style-type: none">・六角川河口堰等の既存施設を有効に活用することは、今後の河川管理上からも重要な施策と考えています。・そこで、令和3年洪水を対象に干潮時に河口堰を閉門し河口堰上流に水を貯めるためのポケットを確保する場合に必要な排水ポンプの規模を検討しました。・検討の結果、河口堰地点に約600m³/s以上のポンプが必要となり、費用は1,000億円以上必要となることがわかりました。・現在、干潮・満潮時の堰操作（堰の開け閉め操作）を考慮した場合の排水ポンプの規模を検討中です。・河口堰周辺の家屋側の地盤は低いため、大雨時の内水排水を考慮に入れると河口堰上流に貯める水位は地盤高よりも低く設定する必要があり、そのための排水ポンプは約700m³/s～1,000m³/s以上になると想定しています。

			<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な排水施設になるため、施設配置計画の困難性や排水による下流河川への影響、漁業等への影響も想定されるため、実現に向けては課題が多いですが、将来を見据えて今のうちから検討を進めておくことは重要だと考えます。 <p>→ 詳しくは下記ページをご参照下さい。</p> <p>https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/site_files/file/ryuuiki-chisui-rokkaku/3_kaigishiryoku(1).pdf</p>
3	武雄バイパスの延伸計画についても、排水等も含めた災害の危険性について考慮はしているのか。	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 34 号武雄バイパス工事につきましては、排水等の計画見直しを要望しており、現在検討が行われております。
4	水害が起こった場合の対策も現状では必要でしょうが、抜本的対策のために有明海へ直接ポンプ揚水を早急にすべきだと思いますか。	河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・六角川河口堰等の既存施設を有効に活用することは、今後の河川管理上からも重要な施策と考えています。 ・そこで、令和 3 年洪水を対象に干潮時に河口堰を閉門し河口堰上流に水を貯めるためのポケットを確保する場合に必要な排水ポンプの規模を検討しました。 ・検討の結果、河口堰地点に約 600m³/s 以上のポンプが必要となり、費用は 1,000 億円以上必要となることがわかりました。 ・現在、干潮・満潮時の堰操作（堰の開け閉め操作）を考慮した場合の排水ポンプの規模を検討中です。 ・河口堰周辺の家屋側の地盤は低いため、大雨時の内水排水を考慮に入れると河口堰上流に貯める水位は地盤高よりも低く設定する必

			<p>要があり、そのための排水ポンプは約 700m³/s～1,000m³/s 以上になると想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な排水施設になるため、施設配置計画の困難性や排水による下流河川への影響、漁業等への影響も想定されるため、実現に向けては課題が多いですが、将来を見据えて今のうちから検討を進めておくことは重要だと考えます。 <p>→ 詳しくは下記ページをご参照下さい。</p> <p>https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/site_files/file/ryuui-chisui-rokkaku/3_kaigishiryoku(1).pdf</p>
5	<p>北方町の広田川に排水機場の用地買収が進められています。そこは、新橋の上流です。ポンプの運転調整が新橋の水位で、ポンプ停止が行われています。ここに排水したら、すぐに水位が上がり上流のポンプが停止になり、北方町は武雄市内等からの水などが流れ込み遊水地になり、それまで以上の水位になり、大洪水になると思います。（意見）</p>	佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、排水先となる国管理の六角川において、新橋付近も含めた大町町から武雄市橘町までの間で緊急的に河道掘削等を実施し、河川水位を低減させる工事が行われています。 ・国からは、この工事が完了すれば、令和元年8月や令和3年8月の豪雨が再び起こったとしても、ポンプの運転調整は回避できると聞いています。 ・このため、広田川排水機場で強制排水しても、ポンプ停止にはならないと考えています。
6	<p>旧市営住宅跡地を民間に売払ったそうですが、そこに被災者の集団移転の為に用地確保することで、北方町の過疎化対策もできるのではないのでしょうか。</p>	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅跡地について現在売り払ったものはありませんが、跡地の活用案の一つとして参考とさせていただきます。

7	山間地の谷筋及び窪地を利用して大きなため池（数千万トン級）を作り、必要に応じてポンプアップする。排水時は水力発電装置で脱炭素型を目指す。（意見）	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・予測を上回る気候変動については、様々な検討が必要と思われる。あらゆる方法を視野に入れて考えていきます。
8	耕作放棄地を利用して、水張用として活用し田んぼダムへの協力・貢献を目指す。（意見）	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダムについては、今後も協力エリア拡大に向けて取り組んでいきます。
9	人的被害そこなかったものの、ほとんどの家が浸水した高橋は、皆、疲れ切っているのが現状です。特に南側、新堀地区周辺は高齢化率も高く、復旧も半ばで放棄した家も少なくありません。温暖化でまた水害があれば、高橋を離れる人も多く出る（既に数軒あり）と思われます。過疎の町になりそうな不安もあり、まちづくりについては頭を痛めているところです。	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・武雄市の新・創造的復興プランの基本理念は「誰もが安心して住み続けられる安心して住み続けられ、新たなにぎわいが生まれる創造的復興」としています。 ・まちづくりについては、市民の皆さんの想いをしっかり受け止め、皆さんとともに住民参画で進めていきます。 ・気候変動の影響で、今後も災害は頻発することが見込まれています。どれほど対策を行っても、自然災害に対して万全はないかもしれませんが、それでも「やっぱり武雄」と思ってもらえるまちにしたいという思いで、今後も、皆さんの意見を聞かせていただきながら、まちづくりを進めていきます。
10	田んぼダムなど様々な治水対策に取り組んでいるが、今年の出水期はもう目前に迫っている。今年も昨年と同じような雨が降ったらどうなることが予想されているのか、自分たちにも何かできることがあるのか教えて欲しい。治水などは話が大きすぎて想像ができない。車や農機具の避難場所、避難所の増設（地区で管理）などもっと身近な内容も話してほしい。	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、六角川の河道掘削やヨシの伐採等が行われており、一連の工事が完了すれば、昨年と同じ雨が降ってもポンプ停止は回避できますが、浸水をゼロにすることは難しい状況です。田んぼダムやため池の低水管理など、今あるものを活用して今年の出水期に備えています。 ・住民の皆さんにおかれましては、各機関が発信する防災情報の共有が進むようご協力いただきたいと思います。

			<ul style="list-style-type: none"> ・車両の避難所や農機具の避難所については増設を準備しており確保ができた時点で周辺の住民の方々にはしっかりお伝えしていきます。 ・避難所については、指定避難所以外にも自治公民館やお寺など協力いただける場所の確保に取り組んでいます。 ・出水期に向けて、防災対策に係る身近な内容について情報提供を行っていきます。
11	<p>・避難所が遠くて行けない。もっと気軽に行けるように避難所を増やして欲しい。そこに全部市役所の職員さんに来て欲しいとは思っていない。地域の役員、消防団などが鍵を開けることもできる。開けてさえくれば逃げられる。例えば西杵の公民館などを開けてくれたら北方区の人たちが逃げることができる。いざ行って「満杯です、他のところへ」というのはとても厳しい。</p> <p>・スマホを使えないお年寄りにはたけぼうの発信だけでは対応できない。せつかく戸別受信機をつけているのだから情報発信をもっと戸別受信機でしてほしい。「避難者が多くもうすぐ北方公民館は満杯になります」「公民館に物資がいくらあるので困っている方は取りに来てください」など。知らない人が多く不満が出る。</p> <p>・区でも話し合わないといけないと思うが区長さんが声を上げてくれないとなかなか難しい。ただ聞くだけの防災教室ではなく、対話ができる場が欲しい。みんなで話し合っ</p>	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所については、指定避難所以外にも自治公民館やお寺など協力いただける場所の確保に取り組んでいます。 ・戸別受信機での情報発信内容については、皆さんの意見を参考にできる限り充実させていきます。 ・頂いたご意見を参考に、対話を含め、ともに考える場の充実を図っていきたくと考えています。

	<p>災害に立ち向かっていきたい。それを武雄市にバックアップしてほしい。</p>		
12	<p>令和3年12月20日減災対策会議が行われ令和6年度完成予定の国の工事が終わったとしても、令和3年8月規模の雨が降った場合、2700戸の浸水700戸が床上浸水報告が有り。市長は何でもやるとの事、会議では令和4年3月末迄に構想計画、4月に行動計画を策定し、対策実施と進捗管理を行う予定とお聞きしております。</p> <p>市の住民は心配でなりません。</p> <p>以上の事を市ホームページで開示頂きたい。</p>	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月に、国や県、流域市町などで構成される「防災・減災協議会」の組織名が変更され、「六角川水系流域治水協議会」が発足しました。令和4年3月に「新・六角川水系流域治水プロジェクト」の全体構想が公表され、令和4年6月に関係機関の取り組みを一元的に整理した行動計画が公表される予定です。 ・武雄市では、武雄市公式ホームページ内に、治水に関連する情報をお届けするための特設ページを設けています。 ・武雄河川事務所のホームページにおいて「新・六角川水系流域治水プロジェクト」が公表されており、武雄市ホームページにもリンクを貼ってご覧いただけるようになっています。 ・今後も、治水関連事業の情報については、随時更新を図ってまいります。 <p>■武雄市公式ホームページ「武雄の治水」</p> <p>http://www.city.takeo.lg.jp/chisui/index.html</p>

13	<p>不動産売買、賃貸等では、ハザードマップの説明が不可欠とお聞きしています。</p> <p>特に他のエリアからまちづくりに協力頂く方も会社の内部統制、コンプライアンスにより治水、止水対策実施スケジュール、完了時のハザードマップ、水害対策助成金内容がホームページから読み取れません。</p> <p>現在はネットでの調査主流であります。他エリアの皆様が協力いただける、安心情報が無いので特に沿道の店舗等の営業は難しいとの回答が多くあります。</p> <p>※今から沿道店舗の退店が今以上に進むのでは無いかと心配しています、その後誰も出店しないと想像できる事は嫌な事です。</p> <p>上記、記載のホームページで読み取れる安心情報に努めて頂きたい気持ちで一杯であります。</p>	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・武雄市では、武雄市公式ホームページ内に、ハザードマップをはじめ防災関連情報を集約した特設ページを設けています。 ■武雄市公式ホームページ「防災・緊急」 http://www.city.takeo.lg.jp/bosai/ ・また、罹災証明書の申請など各種手続きのご案内や、水害対策への支援金や補助制度などを含む支援リストを一元的に集約した特設ページを設けていますので、ご覧ください。 ■武雄市公式ホームページ「被災された皆様へ」 http://www.city.takeo.lg.jp/r3fukkou/index.html ・ハザードマップについては、現在、土砂災害に関するマップと、洪水に関するマップを作成し公表していますが、内水氾濫に関するマップの作成についても、今後取り組んでまいります。 ・ハザードマップは、一定の雨量が降った場合に、標高や地形などから想定される浸水エリア及び浸水深を表示していますので、自助、共助にお役立てください。
事後アンケート			
1	<p>ため池治水について、利水のために作られたため池を治水にどれだけ利用できるのか？</p>	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市内には 400 以上のため池がありますが、耕作地の減少により利水としての必要量が変わってきています。すでに利水活用を行っていないと見込まれるため池もあり、現状について本年度調査を実施しています。

2	避難施設の管理は地元か？	武雄市	<ul style="list-style-type: none"> 追加する避難施設については、通常は現在の使用状態と変わらないため、自治公民館など地元の施設については地元管理となります。
3	河道掘削は土砂がすぐに堆積するのではないか。その対策は？	河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> 六角川は、有明海の干満の影響から、普段水が流れる部分を拡幅しても堆積により元に戻りやすいという特性があるため、今回の河道掘削は、高水敷と呼ばれる普段水が流れない平地の部分を掘削し湛水池を設置します。 高水敷は月 2 回の大潮の時に冠水しますがこれまでの状況を確認した結果、顕著な土砂の堆積は確認されておらず掘削後の土砂堆積が急速に進行することはないと思われます。 牛津川で整備済みの湛水池については、令和元年及び令和 3 年の洪水を経験しましたが、顕著な堆積は確認されておらず、六角川で整備する湛水池についても、効果が持続するものと考えています。 工事完成も現地確認を継続的に実施し、万一、水の流れを阻害する土砂堆積が確認された場合には維持管理を行う予定です。
4	六角川は泥が滞留しやすく、河道掘削は数年に 1 度実施を予定されているのでしょうか？	河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> 六角川は、有明海の干満の影響から、普段水が流れる部分を拡幅しても堆積により元に戻りやすいという特性があるため、今回の河道掘削は、高水敷と呼ばれる普段水が流れない平地の部分を掘削し湛水池を設置します。 高水敷は月 2 回の大潮の時に冠水しますがこれまでの状況を確認した結果、顕著な土砂の堆積は確認されておらず掘削後の土砂堆積が急速に進行することはないと思われます。

			<ul style="list-style-type: none"> ・牛津川で整備済みの湛水池については、令和元年及び令和3年の洪水を経験しましたが、顕著な堆積は確認されておらず、六角川で整備する湛水池についても、効果が持続するものと考えています。 ・工事完成も現地確認を継続的に実施し、万一、水の流れを阻害する土砂堆積が確認された場合には維持管理を行う予定です。
5	六角川についていじるだけで根本的な対策なし！なぜ六角川の水を海に放流する考えがないのか？六角川河口堰は何のための井堰か？	河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・六角川流域治水協議会では六角川河口堰の有効活用として、洪水時に河口堰を閉門し上流からの水をポンプ排水することを検討しています。 ・検討の結果、令和3年8月洪水に対し、約600m³/s以上のポンプ能力が必要になると試算しています。 <p>→ 詳しくは下記ページをご参照下さい。</p> <p>https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/site_files/file/ryuuiki-chisui-rokkaku/3_kaigishiryoku(1).pdf</p>
6	緊急河道掘削で本当にポンプが停止しないのか。	河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合を前提として、今回の緊急河道掘削の実施によりポンプ運転調整（ポンプ停止）は必要ないと試算しています。 ・ただし、令和3年8月洪水よりも多い降雨の場合は、ポンプ運転調整が必要になる場合もあります。 ・世界的な気候変動に伴い、年々降雨の勢いが増しておりますので、今後も流域治水の思想のもと、あらゆる関係者が連携して浸水被害を軽減していくことが望まれます。

7	<p>洪水時に六角川河口堰を閉門はできないのでしょうか (干潮時に閉めて、海水の流入を防ぐ)</p>	<p>河川事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・六角川河口堰の有効活用として、洪水時に河口堰を閉門し上流からの水をポンプ排水することは物理的には可能です。 ・ただし、河口堰を閉門した場合は、上流からの水を河口堰の下流に排水するためのポンプが必要になります。 ・例えば、令和3年8月洪水と同規模の洪水の場合は、約600m³/s以上のポンプ能力が必要になると試算しています。 <p>→ 詳しくは下記ページをご参照下さい。</p> <p>https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/site_files/file/ryuuiki-chisui-rokkaku/3_kaigishiryou(1).pdf</p>
---	--	--------------	---